

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
保育実習Ⅱ	2	前期	実習	2	神崎 光彦
<p>○ 授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 乳幼児との関わりを通して、子どもの実態や課題を把握することができる。</p> <p>(2) 指導保育者等の保育について、視点を持って観察し、事実即して記録することができる。</p> <p>(3) 保育指針および乳幼児の実態等を踏まえた適切な指導案を作成し、保育実践することができる。</p> <p>(4) 保育に必要な基礎的技術（声かけ、保育展開、環境構成等）を身につけることができる。</p> <p>(5) 保育者の役割と職務内容を実地に即して理解している。</p> <p>(6) 様々な活動の場面で適切に乳幼児と関わるすることができる。</p> <p>(7) 保育所における子育て支援について理解している。</p>					
<p>○ 授業の概要</p> <p>保育実習Ⅱは、保育士資格取得上、必修の実習である。保育所における保育実習において、授業で学んだ専門的な知識・理論・技術等を保育で実践するための基礎を身につけ、保育実践力の向上を目指すよう努める。</p>					
<p>○ 授業計画</p> <p>10日間の実習期間を通して、下記の内容について理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの姿（発達の過程や状況、特性）を学ぶ。 2. 子どもの生活の実態および保育所保育の実際を理解する。 3. 子どもとの関わりによって、保育者としての自覚をもつ。 4. 保育者の職務内容や適切な援助について学ぶ。 5. 乳幼児の実態を考慮しながら適切な指導計画を立案し、それに基づき実践する。 6. 実習記録を通して日々の実習を振り返り、自己課題を明らかにし、より良い保育のあり方を探る <p>【事前学修】 実習園について理解を深めるとともに、実習に必要な知識や技能の向上を目指して、実習記録の記載および指導計画の立案、模擬保育の実践などに取り組む。</p> <p>【事後学修】 実習を振り返り、自己の課題や問題点などについて省察し、ノート等にまとめる。実習記録を整え、実習園と養成校担当教員に提出する。</p>					
<p>○ 参考書・参考資料等</p> <p>「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館</p> <p>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館</p>					
<p>○ 学生に対する評価</p> <p>実習園の評価60% 実習記録40%</p>					

